

# 塩竈市立月見ヶ丘小学校防災教育全体計画

## 学校教育の目標

自ら学び、心豊かで思いやりがあり、心身ともにたくましい主体的な児童を育成する

### 防災教育目標

- ・ 災害から自らの命を守るために必要な知識や技能を育てる
- ・ 自分の命、他者の命を大切にし、共に生きる心を育む
- ・ 身近な人々に対する思いやりや感謝の心を育み、たくましく生きる力を育む

### 防災主任

- ・ 防災教育の推進
- ・ 防災機能の整備

## 児童像

進んで学びよく考える子ども 心豊かで思いやりのある子ども たくましくねばり強い子ども

## 防災教育指導目標

低学年	中学年	高学年
<b>だいすきわたしたちのまちしおがま</b> ・ 友達や身近な人への関心を高め、学校や学区にある安全な施設について理解する。 ・ 友達や身近な人と仲良く行動できる態度を養う。	<b>調べよう 私たちのしおがま市</b> ・ 塩竈市の土地や気候、自分たちのくらしを災害から守ってくれている人や施設について理解する。 ・ 命の大切さについて考え、自分たちを支えている人々に感謝する。	<b>災害に強い学校を目指して</b> ・ 災害が起きる原因について理解する。 ・ 災害が起きたときに自分たちができることを考え、実行しようとする態度を養う。
<b>大地震・津波への対応</b> ・ 身の安全を確保する行動について理解するとともに実践する力を高める。 ・ 2次災害の防止のための行動を理解して、実行しようとする態度を養う。		

特別活動	道徳	総合的な学習の時間	各教科
<b>学級活動</b> ・ 日常生活や学習への適応及び、健康や安全に関する事 ・ 係、委員会活動の充実  <b>児童会活動</b> ・ 学校生活の充実と向上のために諸問題を話し合い、協力してその解決を図る活動  <b>学校行事</b> ・ 安全な行動や規律ある集団行動の体得、責任感や連帯感の向上 ・ 集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験 ・ 勤労生産・奉仕の行事における勤労生産体験やボランティア活動など ・ 避難訓練	・ 人間尊厳の精神と生命に関する畏敬の念を養う。 ・ 日常生活において豊かな心を育み、人間としての心の基本である道徳的価値を身に付ける。 ・ 自然体験活動やボランティア活動などを通して思いやりの心や協同的な態度を育て、よりよく生きていく道徳的实践力を育成する。  ◎関連内容項目 1 主として自分自身に関する事 (2) 希望、勇気、不撓不屈 2 主として他人とのかかわりに関すること (1) 礼儀 (2) 思いやり、親切 (3) 信頼・友情・助け合い (5) 尊敬・感謝 3 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること (2) 生命尊重 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること (1) 役割の自覚と責任 (2) 勤労・奉仕 (3) 家族愛	・ 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える。 ・ ボランティア活動などの社会体験、見学や調査、発表や討論、ものづくりや生産活動などの体験的な学習  ◎関連単元 ・ 3年 われら塩竈探検隊 ・ 4年 ふるさと塩竈新発見 ・ 5年 塩竈の環境を調べよう ・ 6年 人に優しい街づくりを考えよう	・ 各教科の関連内容を踏まえて防災意識の高揚を図る。 ・ 分かる授業、できる授業、楽しい授業の展開 ・ 各教科のねらいに即し、基礎・基本を確実に身に付ける。  国語 表現力の育成 社会 地域社会の一員としての自覚をもつ。 地域社会に対する誇りと愛情を育てる。 基礎資料を効果的に活用し調べたことを表現する力を育てる。 理科 気象現象や流水の性質、規則性についての理解を深める。 土地のつくりとその変化について理解する。 生活 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などとかかわりに関心・愛着をもち、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動する。

### 連携・協力

- ・ 保護者、地域との連携
- ・ 大学、専門機関との連携
- ・ 関係団体との連携

### 共に育てたい力

- ・ 情報活用能力の育成
- ・ コミュニケーション能力の育成
- ・ 表現力の育成

## 豊かな体験活動

地域とのかかわり

人とのかかわり

自然とのかかわり

### 防災体制

- ・ 防災計画の立案と共通理解
- ・ 防災意識の向上
- ・ 教職員の役割の明確化
- ・ 定期的な安全点検

### 教職員の研修計画

- ・ 防災教育に関する研修
- ・ 地域の実態、災害のメカニズムの理解
- ・ 応急措置や蘇生法に関する講習
- ・ 心のケアとカウンセリングマインド